

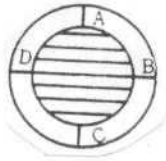
6-17 舗装工事のコア採取位置の 選定方法

6. 舗装工事のコア採取位置の選定方法

コアの採取する方法は無作為を原則とし、一般的には乱数表を使用してきめるものとするが施工幅が極めて小さい場合は必ずしも乱数表を用いなくてもよい。コア採取位置については請負者にて選定のうえ、監督員の承諾を得るものとする。

採取したコアは、ラベルを貼り保存する。

ラベル (例)



イ) 車道舗装の採取位置の決定

道路を横断方向に4列に割り、各列とも10m毎のマス目に割り工事延長に従って最初のマス目と最後のマス目に数字を入れる。例えばL=1,345mの場合、マス目は135×4のマス目に切られているので一列の最初は0を記入し、一列の最後は134を記入する。二列の最初は135を記入し、最終は135に一列の最終数値134を加えて269を記入、三列の最初は270を記入し、最終は270に一列の最終数値134を加えて404を記入、四列は最初に405を記入、最終は405に一列の最終数値134を加え539を記入する。マス目は先の説明で135×4=540あり、0から連続して539の数字が入ることになる。

P735の乱数表を使用し、縦横の番号をきめて此の場合四列の最終数値が三桁であるので数字を三桁ずつ拾う、此の際最終数字539より多いもの及び端数でコア採取が困難なものは全部捨て、所定の個数分を拾う。

0			44			63						134
135							206		218			269
270				307	312			357				404
405		421	436					482				539

例えば、縦4、横2を用いるとすると、706、436、889、688、804、218、567、944、063、307、206、421、482、904、699、620、563、482、044、357、312を左図の如く記入し採取位置の列を確認する。44、63、は一列、206、218

は二列、307、312、357は三列、421、436、482は四列になる。一列は左よりWの $1/8$ 、二列は左よりWの $3/8$ 、三列は右よりWの $3/8$ 、四列は右よりWの $1/8$ とする。

起点よりの距離を求めるには一列については数字を10倍して+5m、二列～四列については、数字と各列の最初の数字の差を10倍して+5mとする。例えば、一列44は $44 \times 10 + 5 \dots\dots 445\text{m}$ 、63は $63 \times 10 + 5 \dots\dots 635\text{m}$ 、二列206は $(206 - 135) \times 10 + 5 \dots\dots 715\text{m}$ 、四列421は $(421 - 405) \times 10 + 5 \dots\dots 165\text{m}$

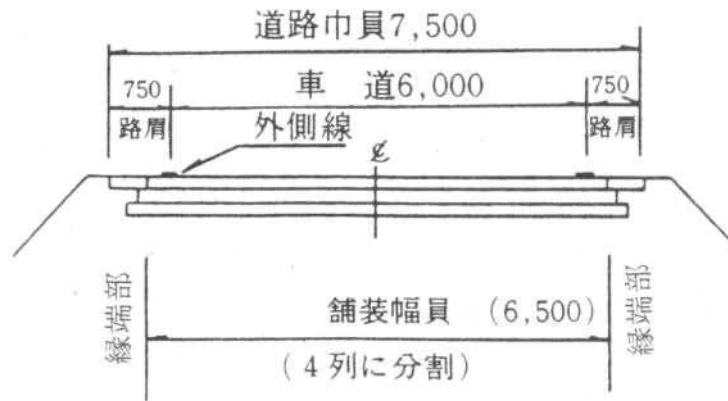
(注) 乱数表で位置を決める場合に応々にして起点よりに集まったり、或いは終点よりに集まったり、又は左側或いは右側部分に片寄ることがあるが、その場合には縦横の組合せを変えたり、必要によっては出た数字を飛ばして拾う等適宜に考える。

注意事項

- a) 一方向の舗装幅員が2車線を越える場合は1方向で4列に切るものとする。
- b) 列を切るに際し、舗装幅員は同一舗装構成の縁端部を基準とする。
- c) 橋面舗装、区画線、ゼブラ、横断歩道等機能に支障を来すおそれのある箇所は採取位置からはずすこと。但し橋面舗装の出来形及び品質管理は別途実施する。
- ロ) 歩道舗装の採取位置の決定
 - a) 歩道の採取位置は _____ 車道の採取位置から横断方向に、歩道舗装幅員の中央をコア-採取位置とする。
 - b) 歩道が部分的に存在する場合は車道の採取位置に関係なく無作為に定める。
 - c) 車の乗入箇所に当たった場合は縦断方向で起点あるいは終点よりに5m離れた位置で定める。
 - d) 歩道幅員が3mを越える場合は、縦断方向に2列に切り千鳥に位置を定める。
- ハ) 広場等

広場など広い範囲の舗装の場合はフィニッシャーの施工幅でマス目を切り乱数表を用いて位置を定める。

exp 1 2車線道路の場合



exp 2 6車線の場合

